



インタラクティブディスプレイ

M55PE2S/M65PE2S/M75PE2S/M86PE2S

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」および本書記載の「安全上のご注意」をよくお読みになり、十分にご理解ください。
また、お読みになった後は保証書とあわせて大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	4
ご使用上の注意	6
付属品を確認する	8
各部の名称と働き	9
正面	9
側面	10
背面	11
設置について	13
設置条件	13
リモコンの準備と操作	14
電池を入れる	14
リモコンで操作できる範囲	14
リモコン操作	15
機器を接続する	16
PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力）	16
HDMI接続する場合	16
VGA、音声ケーブル接続の場合	16
接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）	18
HDMI接続	18
付属AVケーブルで接続する場合（RCA接続・コンポーネント）	18
本機の映像入力をサブモニターなどで表示する（映像出力）	19
AV IN/VGA/HDMI入力画面を出力する場合	19
本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）	19
本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合	19
ネットワーク接続する	20
Wi-Fi接続	20
LANケーブルの接続	20
電源を接続する	21
電源の入／切	21
スタンバイモード	21
タッチ操作	22
基本的な操作方法	23
ホーム画面	23
入力ソース切替画面	24
表示方法	24
映像入力している機器の映像を表示する	24
サイドメニューを表示する	25
アプリ一覧画面を開く	27

ホワイトボードソフトを使う	29
描く、消す	31
投げなわツール	31
2人同時書き込みモード	32
ファイルを参照する (File)	33
書画カメラを使う	34
画面を切り換える	36
設定する	37
起動方法	37
映像設定	38
音設定	39
電源タイマー	40
システムインフォメーション	40
故障かなと思ったら	41
正常に動作しない	41
映像入力した機器の画面がうまく表示されない	41
音が出ない	41
お手入れ方法	42
長期間使用しない場合	42
タッチ操作がうまくできない	42
製品の保証について	44
修理を依頼されるとき	44

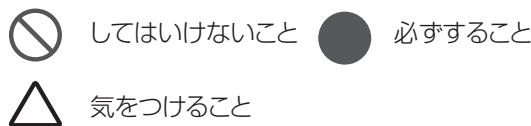
安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味

	警告	人が死亡または重傷に結びつくことが想定される内容です。
	注意	人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。

記号は次の意味を表しています。



警告

プラグを抜く
使用中に以下のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる

- ・煙が出ていたり、においがするとき
- ・内部に水や異物が入ってしまったとき
- ・本機を落としたり、本機が破損したとき

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。使用を続けると、火災、やけど、感電の原因になります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

正しい電源電圧で使用する

指示
指定以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしたり、カバーを外さない

改造禁止
火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止
感電の原因になります。

内部に異物を入れない

禁止
金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因になります。

電源プラグや電源コードが破損するようなことはしない

禁止
加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、熱器具に近づけたり、家具などの重いものをのせないでください。傷んだものを使用すると、火災や感電の原因になります。

本機を定期的に清掃する

指示
お手入れには乾いた柔らかい布のみ使用してください。



電源プラグや端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除する

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下となり、火災の原因になります。

端子部分は汚れていると接触不良になり、動作不良になる場合があります。

また、掃除する際は、破損しないよう十分にご注意ください。



雷が鳴り出したら、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

指示
火災や感電の原因になります。



本機に水、湯気をかけない

禁止
本機は防水 / 防塵性を有しておりません。コーヒー湯沸かし器、電気ポット等の近くや調理場で使用しないでください。水滴、湯気が内部に入り、内部部品が腐食し、感電や故障の原因になります。



風呂場など水のかかる場所や雨に当たる場所には置かない

指示
火災や感電の原因になります。



アースを必ず接続する

指示
アースを接続しないで使用すると、火災や感電の原因になります。



スタンドは当社指定のものを使用する

指示
当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。



指示
壁掛けで使用する際は、十分な強度の金具を使用し、壁の補強をする。また、壁掛けの際には専門業者に依頼する。



注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引き抜く

指示
コードに傷がつき、火災や感電の原因になることがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグや電源コードに異常があるときは、使用をやめる

指示
以下のsuchな場合には、使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- ・コンセントに差し込んだときに電源プラグがゆるく、ぐらつく



熱器具のそばや直射日光のあたる場所には置かない

指示
故障や発熱の原因になります。

 禁止 本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因になります。

 禁止 本製品を屋外で使用しない
本製品は屋内専用です。屋外で使用すると、故障の原因になります。

 禁止 本機に強い衝撃を与えない
倒れたり、液晶ディスプレイが割れていがの原因になります。

 禁止 横倒し、うつ伏せ、逆さまの状態で使用しない
発火や故障の原因になります。

 禁止 本機の上に物を置いたり、乗っかったりしない
けがの原因になります。

 プラグを抜く 移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

 指示 電池の取り扱いに注意する
取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがの原因になります。以下の点を注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
 - 電池のプラス (+) とマイナス (-) を間違えない
 - 電池のプラス (+) とマイナス (-) をショートさせない
 - 異なる種類どうしや新しい電池と使いかけの電池を混ぜて使用しない
 - 分解しない
 - 火や水の中に入れたり、加熱しない
 - 長期間使わないときは、電池を取り出す
- 電池が液もれたときは以下の指示に従ってください。
- 素手で液をさわらない。
 - 液が体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。
 - 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診察を受ける。

 禁止 ディスプレイが破損した場合は、液晶を皮膚に近づけない
失明や皮膚に障害を起こす原因になります。
液晶が漏れて目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けて下さい。

 禁止 付属の電源コード以外は使用しない
火災や感電の原因になることがあります。

 指示 電源プラグは容易にコンセントから抜くことができる状態で使用する
異常が起きたときに、すぐ電源プラグをコンセントから抜けるようにしてください。

 指示 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因になります。

 禁止 たこ足配線はしない
火災の原因になります。

 禁止 通風口をふさがない
内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

 指示 通風口は定期的に掃除する
通風口がほこりなどでふさがると、発熱や発火・故障の原因になります。

 禁止 画面を強く押したり、叩いたり、先のとがったもので押さない
液晶ディスプレイが破損し、けがの原因になります。

 指示 本機を移動するときは、接続しているコードを外す
コードが破損したり、引っかかって倒れてけがの原因になります。

 指示 お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災、やけど、感電の原因になります。

 指示 アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなうまた、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外す

ご使用上の注意

周囲環境

- ・ 本機を使用するときは、周囲温度を0°C～40°C、湿度を20%～80%の範囲内にしてください。この範囲外の温度や湿度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因になることがあります。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- ・ 風通しがよく、熱がこもらない場所でご使用ください。

電源を切るとき

- ・ 本機は精密機器ですので、動作中に電源プラグをコンセントから抜いたりすると、故障の原因になります。必ず本体の電源をオフにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れするとき

- ・ お手入れするときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 画面を強くこすったり、固い布で拭くと傷つくおそれがあります。
- ・ シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることができます。
- ・ 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

- ・ 低温の場所から高温の場所に本機を移動したり、暖房を入れて室温が急激に上昇したときは、本機内部に結露が発生することがあります。このような場合は、十分に時間をおく、結露がなくなつてから電源プラグにコンセントを差し込んでください。

電源ボタンについて

- ・ 電源オン時に本機の前面にある電源ボタンを短く押すと、スタンバイモードになります。ディスプレイの表示はオフになりますが、機器は動作しています。電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを長押ししてシャットダウンするか、主電源スイッチをオフ(○)にしてください。

残像について

- ・ 長時間同じ画面を表示しておくと、残像が生じることがあります。故障ではありません。残像は時間の経過とともにになりますが、長時間同じ画面を表示させるような使い方はなるべく避けてください。

電源プラグについて

- ・ 付属電源コードの3ピンプラグが使用できない際には、「2ピン+アース線」変換プラグをご使用ください。その際、必ず接地接続してください。また、「2ピン+アース線」変換プラグをご使用の際には、電気用品安全法上の認証品であることをご確認ください。

免責事項

- ・ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(本機にお客様が登録された情報やデータの変化・消失、事業利益の損失、事業の中止など)に関して当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機にお客様が登録された情報やデータが、本機の故障や修理、その他の取り扱いなどにより万一消失した場合も、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は日本国内のネットワーク専用です。日本国外ではご使用になれません。
- ・ アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・ ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・ ウィルスソフトを入れても、すべてのウィルスには対応できません。
- ・ 長時間コンセントを抜いた状態にした場合、時計表示がずれる場合がございます。
時計にずれが生じた場合には日付けと時刻の設定手順に従い再設定をお願いします。

- ・ TV視聴機能は専用のチューナーが必要になります(別売)。また、共聴設備の環境によっては映像や音声に若干の遅れや映像の乱れが生じる場合があります。
- ・ 業者開発のアプリケーション以外のサードパーティ製のアプリケーションは開発会社のバージョンアップにより、仕様変更ならびに使用ができなくなる場合がございます。
- ・ 業者指定品以外の移動式スタンドや金具の使用による転倒・破損などによる故障や損害等は当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

知的財産(著作権・肖像権)について

- ・ お客様が本機を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

Bluetooth／無線LAN (WLAN)についてのお願い

- ・本端末は全てのBluetooth対応機器、無線LAN (WLAN) 対応機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・本端末はBluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- ・無線LAN (WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ・Bluetooth、無線LAN (WLAN)機能を使用した通信時のデータや情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所で使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（電子レンジ使用時には特に影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN (WLAN)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

本製品が使用する無線LAN (WLAN)のチャンネル

- ・本製品は、2.4GHzの周波数帯において、1～13chの各チャンネルを利用できます。
- ・また、5GHzの周波数帯において、W52 (36、40、44、48ch)、W53 (52、56、60、64ch)およびW56 (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)の各チャンネルを利用できます。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

2.4GHz帯ご使用上の注意事項

- ・本端末のBluetooth機能および無線LAN (WLAN) 機能は、2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する）、および特定小電力無線局（免許を要しない）、アマチュア無線局（免許を要しない）などの無線局（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、ご使用を中断して、電波干渉を避けてください。

3.その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

- ・Bluetooth機能が使用する周波数帯

2.4 FH/XX 1

2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/XX : 変調方式がFH-SSおよびその他の方式(DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外)であることを示します。

1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

■■■ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用しおかず移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- ・無線LAN (WLAN)機能が使用する周波数帯

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDM方式であることを示します。

4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用しおかず移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意事項

- ・本端末の無線LAN (WLAN) 機能は、5GHz帯を使用します。
- ・電波法の定めにより5.2GHz帯 (W52)、5.3GHz帯 (W53) の屋外利用は禁止しております。

注意

- ・改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電波通信事業法に抵触します。
- ・本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が製品本体に表示されています。
- ・本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効になります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

付属品を確認する

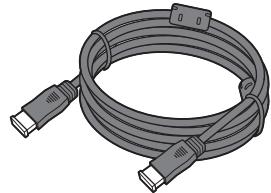
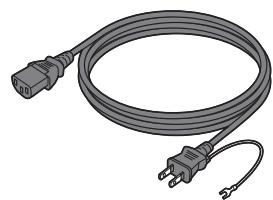
本製品には以下のものが付属します。

万一不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

リモコン×1
単4乾電池×2

電源コード×1

HDMIケーブル×2

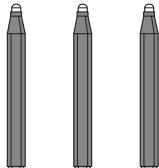
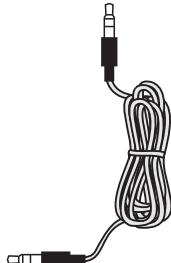
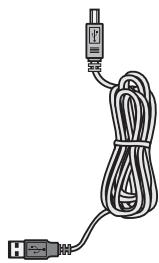


USBケーブル×1
(USB Bタイプ - USB Aタイプ)

ヘッドフォンケーブル×1
(ステレオミニ端子)

AVケーブル×1
(4極ミニプラグ - RCA端子)

タッチペン×3



ECアタッチメント×1

保証書×1

取扱説明書（本書）×1



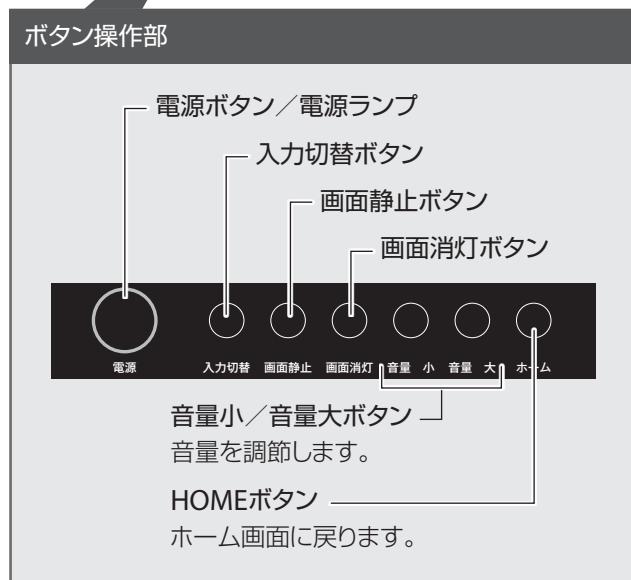
各部の名称と働き

正面



液晶ディスプレイ

キャビネット



各部の名称と働き (続き)

側面



OPSスロット：

本製品にはWindows搭載の内蔵PCを挿入することが可能です。
内蔵PCの詳細については販売店にご相談ください。

側面端子部



HDMI出力端子：

本機に表示している映像を
サブモニターなどに出力します。

HDMI入力端子：

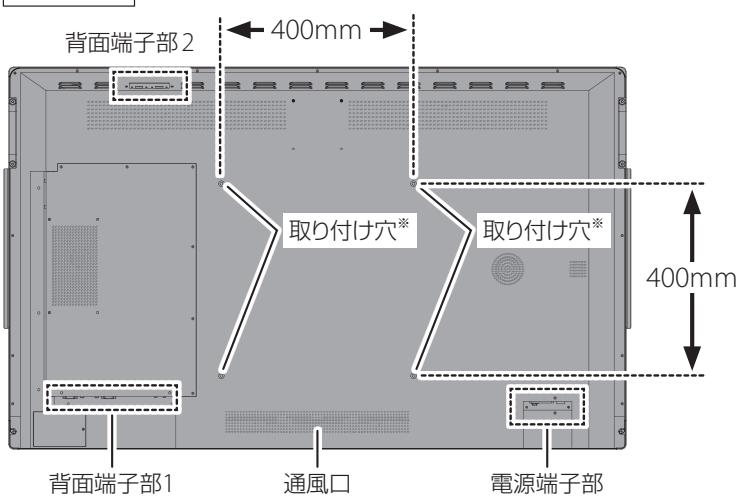
HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で
表示します。
HDMI接続では、音声も同時に入力します。

タッチ端子 (USB type B)：

付属のUSBケーブルでPCなど
を接続すると、本機の液晶ディ
スプレイ上で接続機器をタッチ
操作することができます。

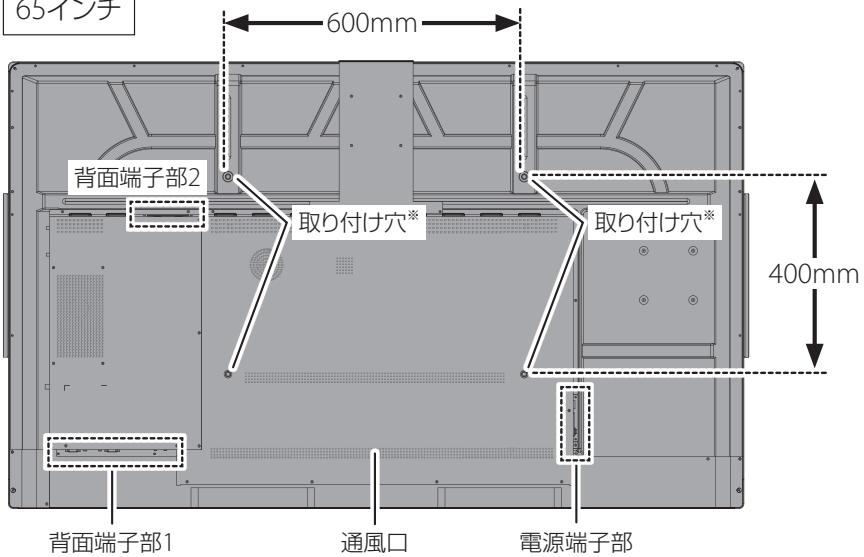
背面

55インチ

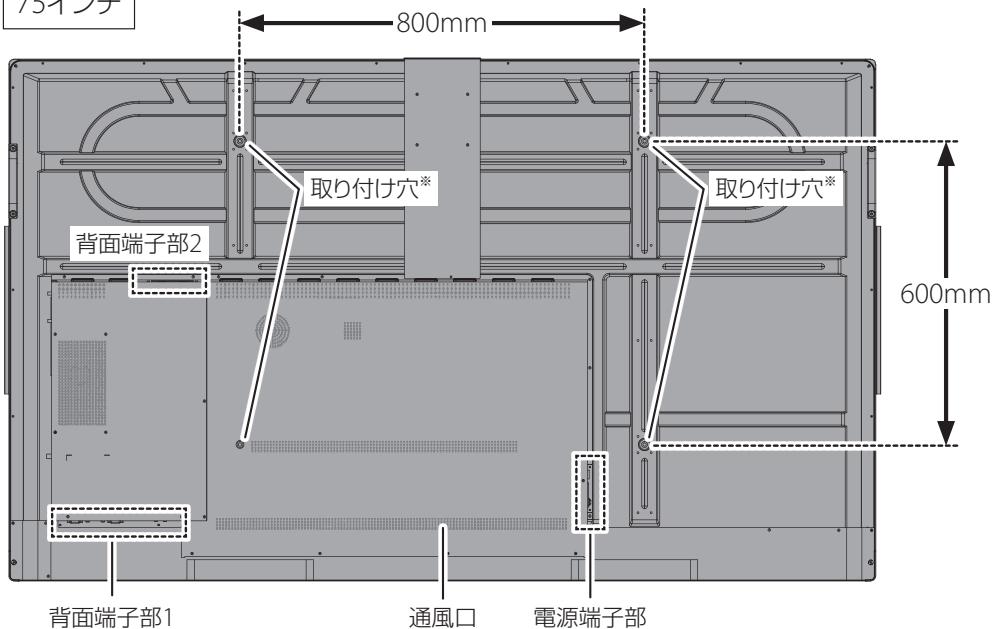


* 取り付け穴用ネジのサイズ : M8×25

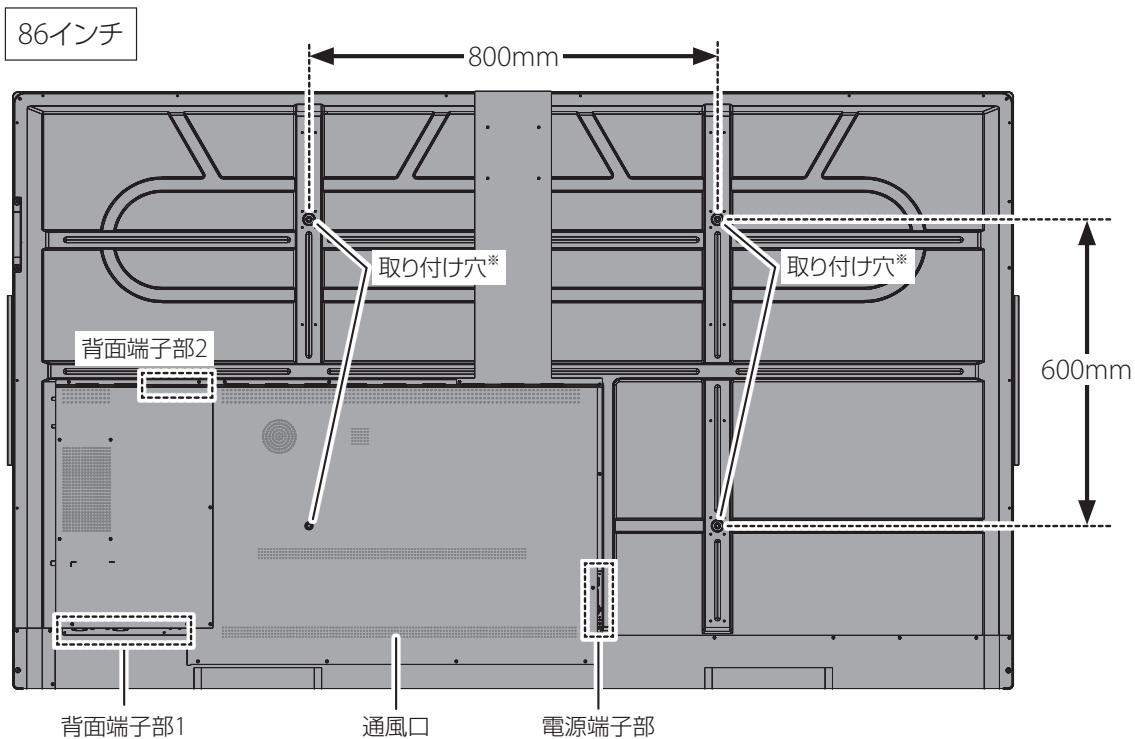
65インチ



75インチ



各部の名称と働き (続き)

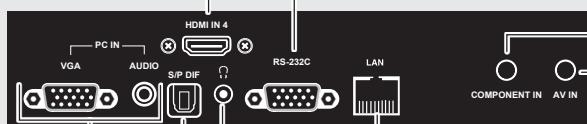


背面端子部1：この部分に接続した外部機器は本機内蔵のAndroidのみに有効です。

HDMI入力端子：

HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。
HDMI接続では、音声も同時に入力します。

RS-232C端子：サービス時に利用します。



コンポーネント端子

映像入力端子(4極ミニプラグ)：
AVケーブルを使って映像と音声を入力します

ヘッドフォン端子：

ヘッドフォンやアクティブスピーカーを接続します。

デジタル音声出力端子(S/P DIF)：
光デジタルケーブルで音声を出力します。

ネットワーク端子：

LANケーブルを使ってネットワークに接続します。

VGA入力端子(ミニD-SUB15ピン)／音声入力端子(ステレオミニジャック)：

付属のディスプレイケーブルとヘッドフォンケーブルを使ってPCなどを接続すると、接続した機器の画面と音声を本機で表示／再生できます。

背面端子部2



リモコン入力端子 カメラ入力端子

電源端子部



主電源スイッチ：
主電源のオン/オフを切り替えます。
| : オン ○ : オフ

電源端子：
電源ケーブルを接続します。

設置について



注意

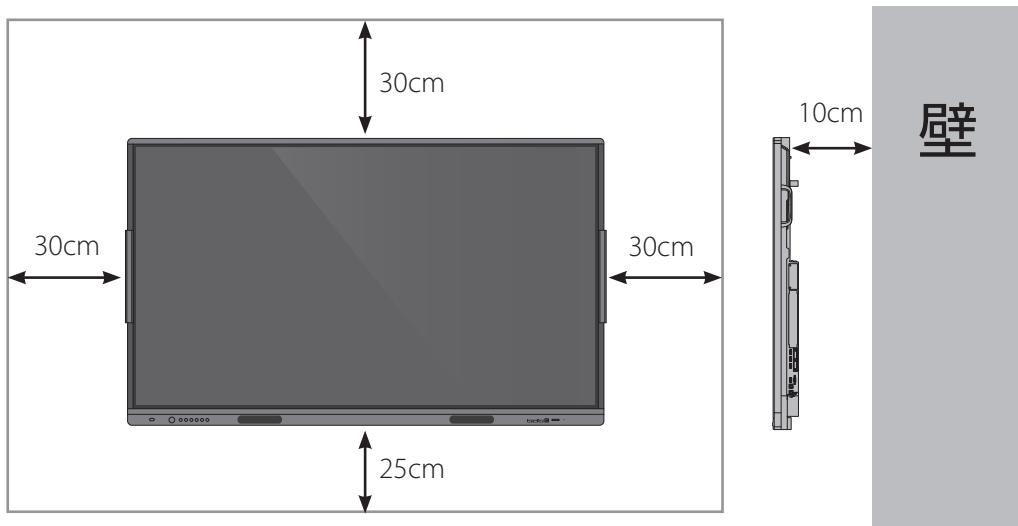
- 本機の設置や取りはずし、移動は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設置・取りはずし・移動は、必ず4名以上でおこなってください。本体が落下してけがの原因になります。
- 本機を壁掛けしたり、天吊りにして使用する場合は、取り付け工事専門業社に依頼してください。取り付け、据え付けの不備による事故・損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 設置するときは、通風口をふさがないようご注意ください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

設置条件

- 本製品は以下の環境でご使用ください。

周囲温度	0°C ~ 40°C
周囲湿度	20 ~ 80%

- 雨や水しぶきが当たるおそれがあるところや湿度が高いところには設置しないでください。
- エアコンの吹き出入口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲から以下の距離を離し、風通しの良い場所に設置してください。



リモコンの準備と操作

電池を入れる

1. リモコン裏面のカバーを開けます。

ふたのつまみを押しながら、ふたを持ち上げます。

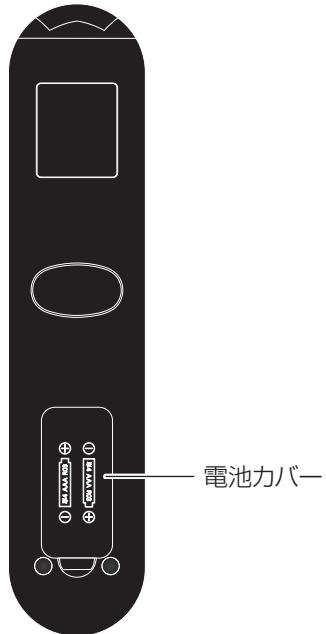
2. 付属の単4乾電池2本を入れます。

リモコン内部に記載している+/-の向き通りに
入れてください。

3. カバーを取り付け、カチッと音がするまで閉めます。

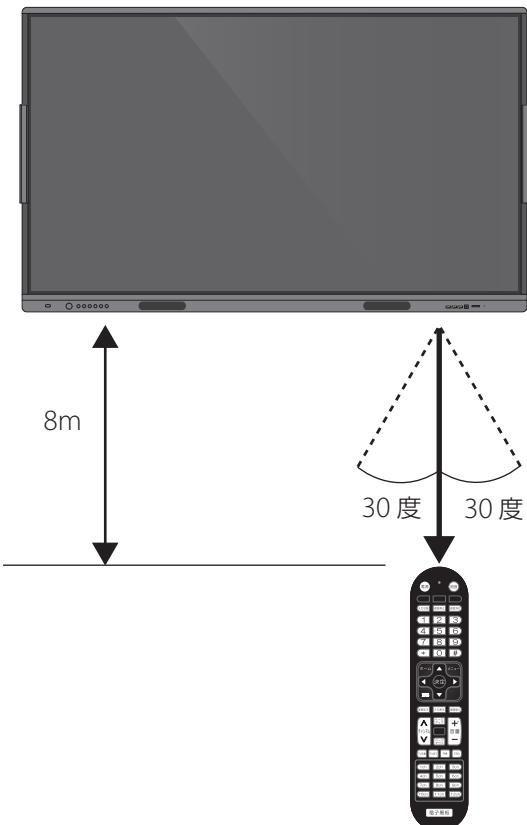
NOTE

- 付属の乾電池は保管状態により、短時間で消耗することがあります。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

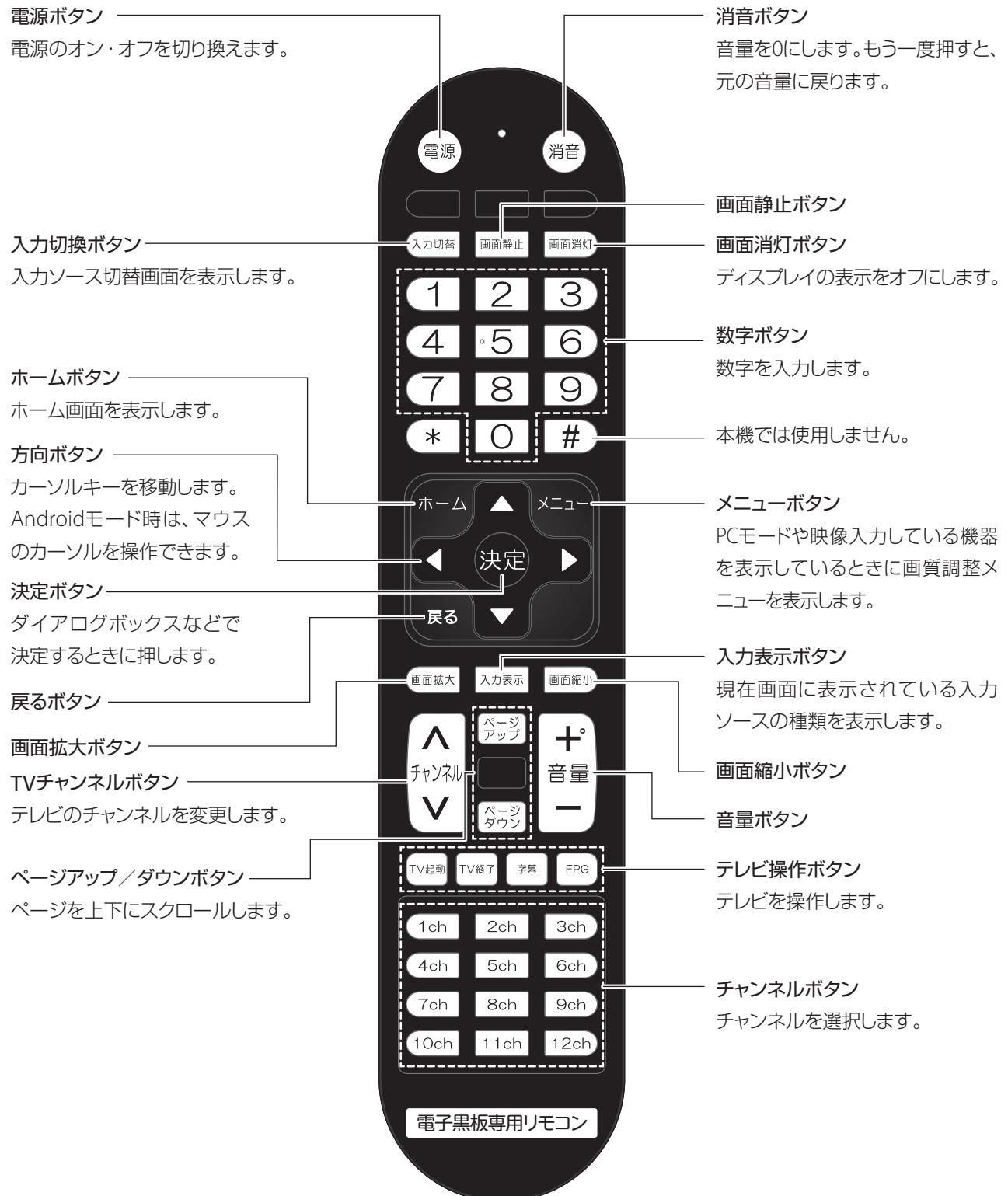


リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から8メートル以内で、上下左右30度の角度から操作可能です。



リモコン操作

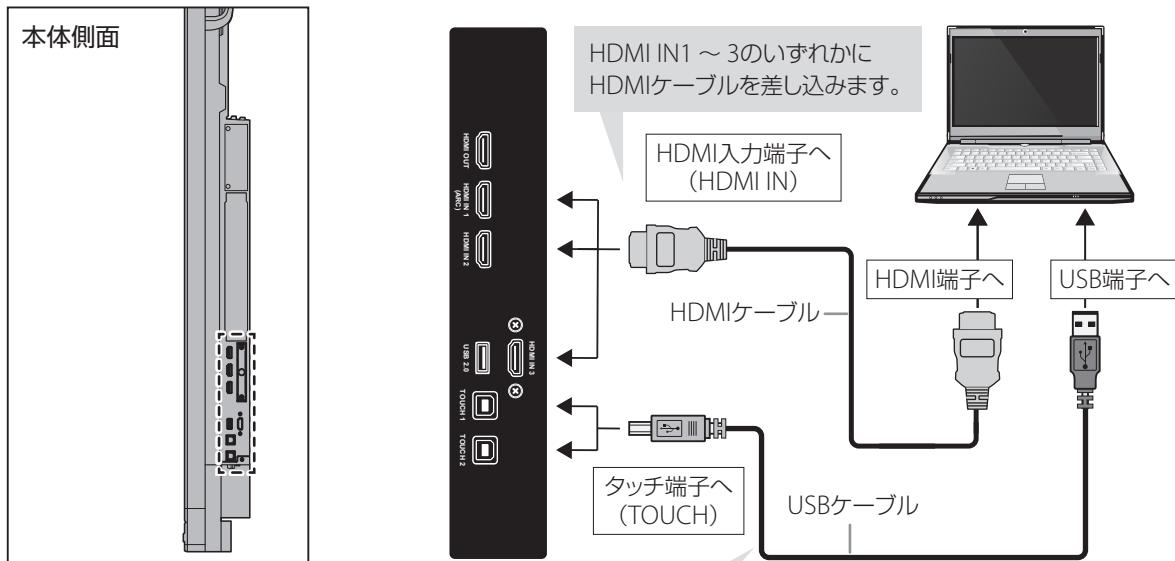


※ テレビはオプションのボード挿入時に使用することができます。

機器を接続する

PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力）

HDMI接続する場合

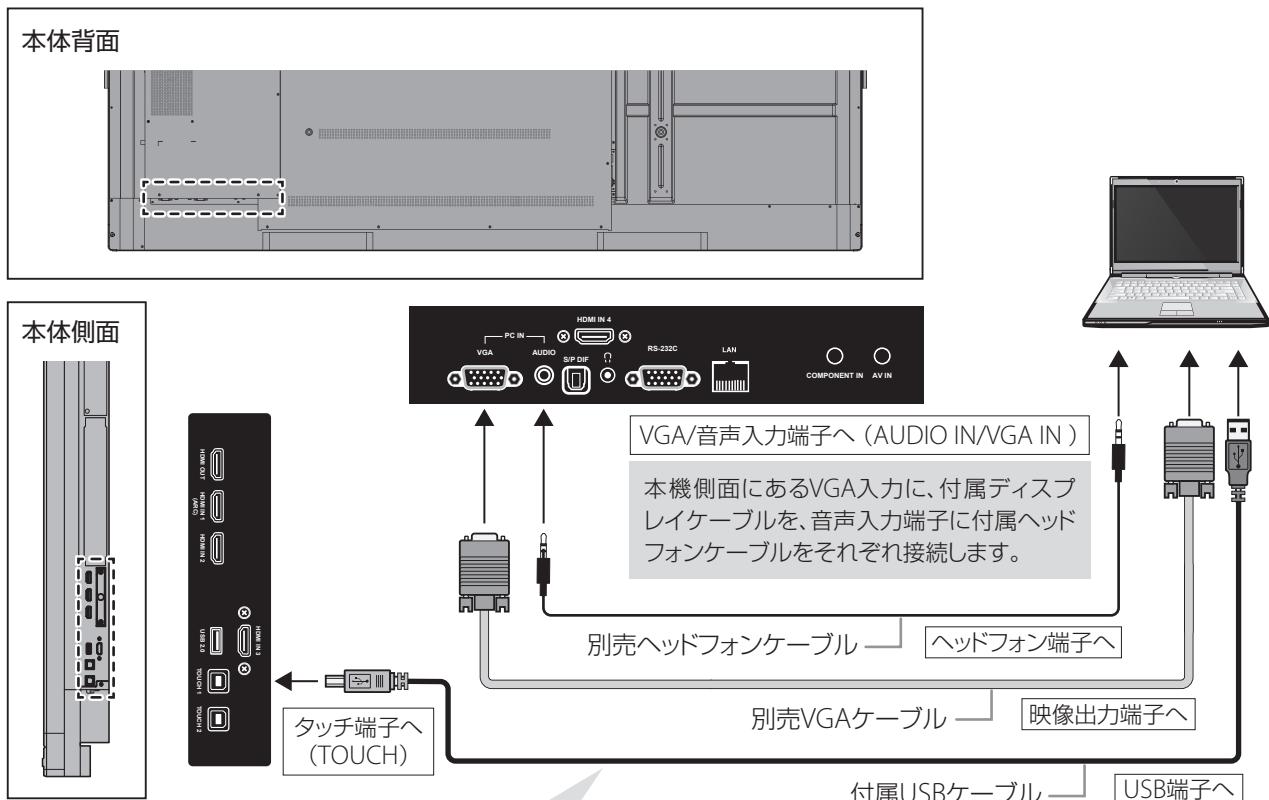


本機側から接続したPCのタッチ操作をするときは、付属のUSBケーブルで、本機のタッチ端子 (TOUCH)とPC側のUSB端子を接続します。

NOTE

HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

VGA、音声ケーブル接続の場合



本機側から接続したPCのタッチ操作をするときは、付属のUSBケーブルで、本機のタッチ端子 (TOUCH)とPC側のUSB端子を接続します。

NOTE

- 本機に接続するPCの推奨スペックは以下のとおりです。
 - ・メモリ：1GB以上
 - ・CPU：2.0 GHz以上
 - ・ハードディスクの空き容量：1GB以上
 - ・256色以上のディスプレイカードを搭載

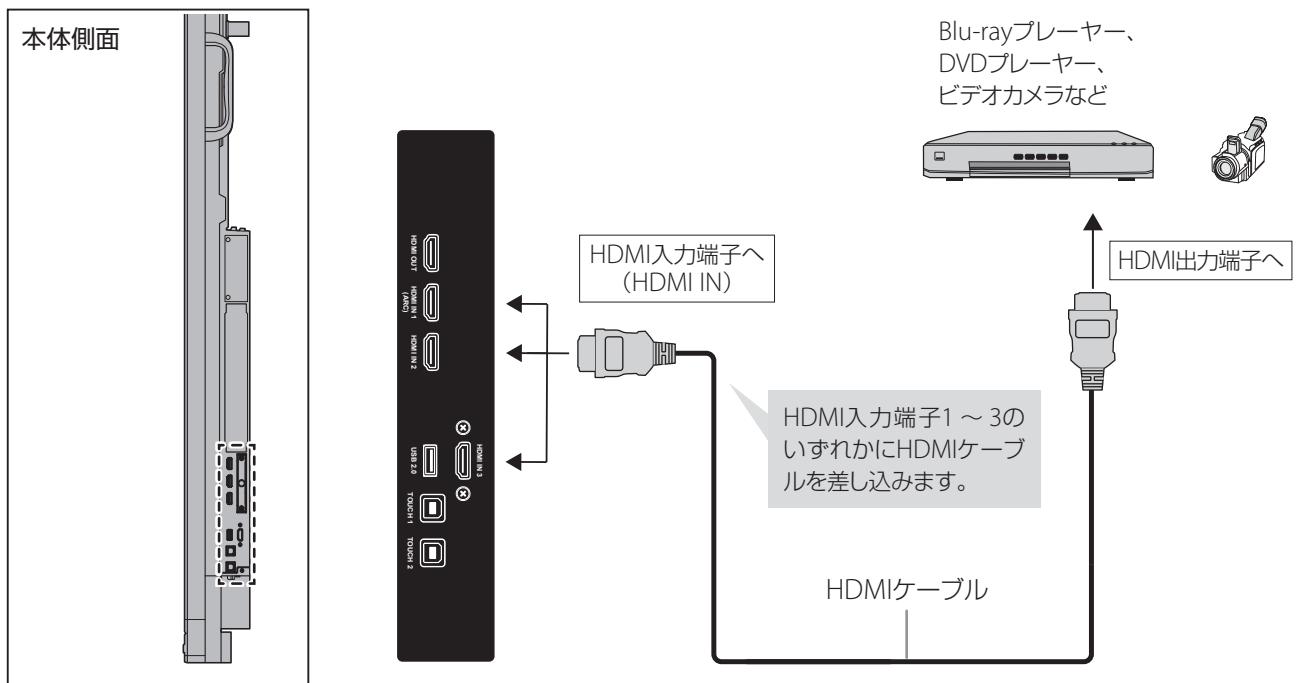
タッチ操作用のドライバインストールについて

本機の電源がオンになっているときに、USBケーブルをPCに接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。

機器を接続する (続き)

接続機器の画面を本機で表示する (映像・音声入力)

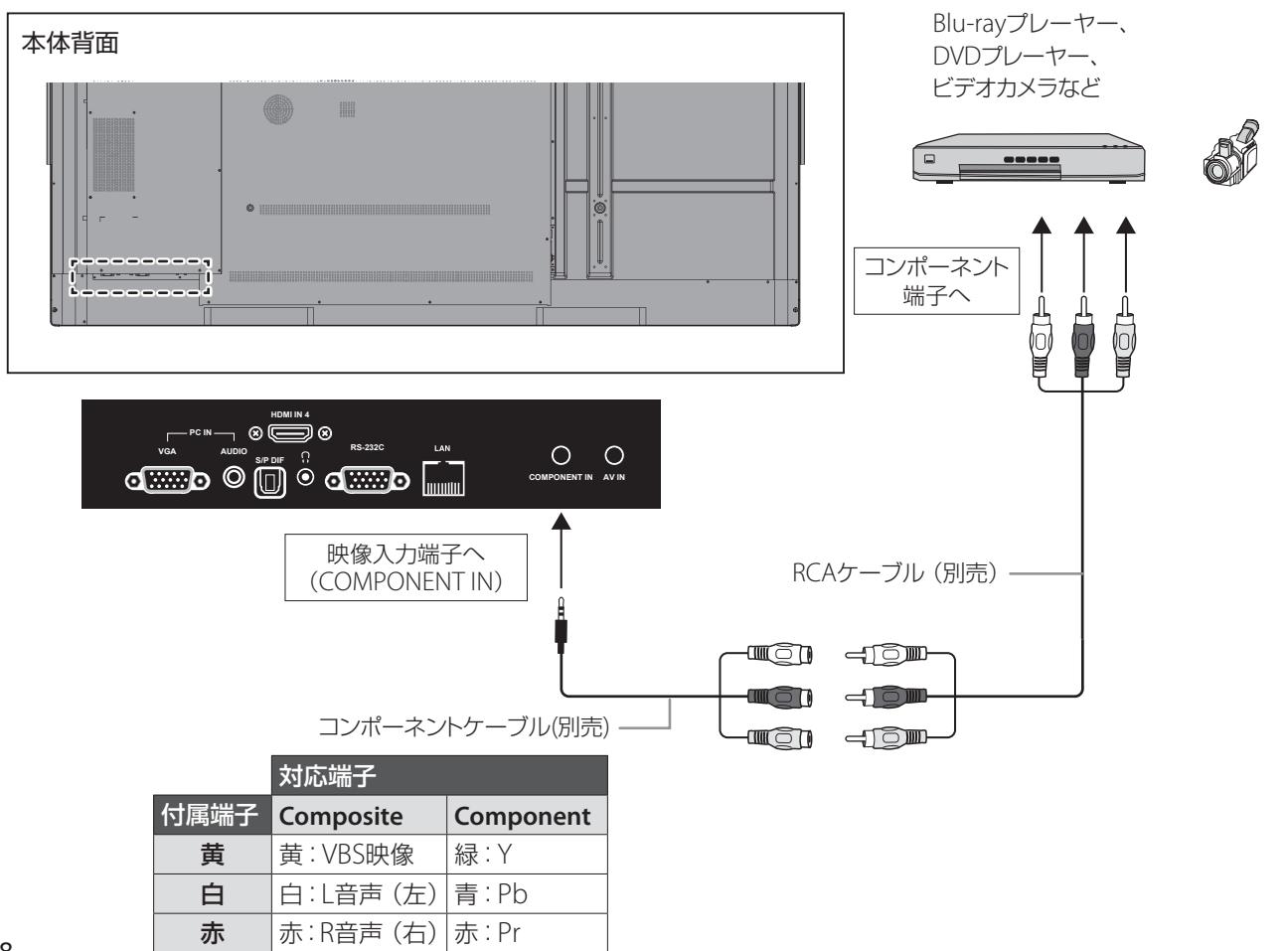
HDMI接続



NOTE

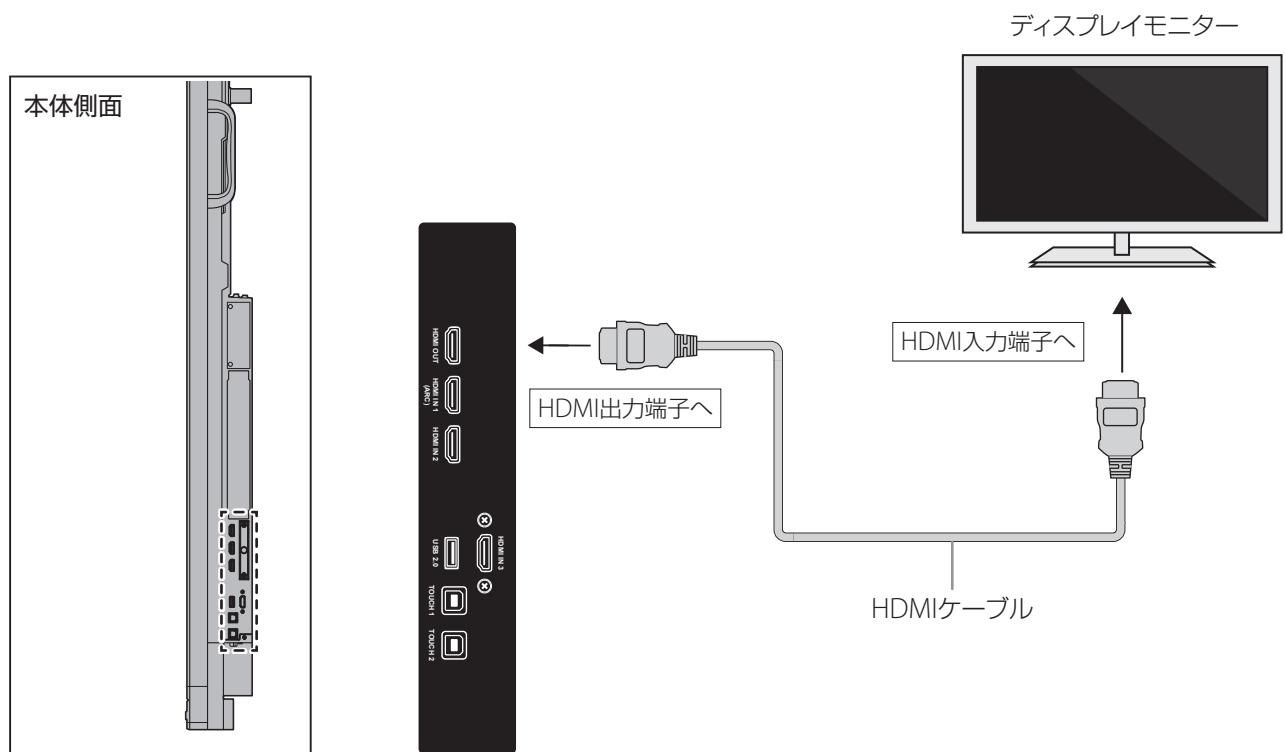
HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

付属AVケーブルで接続する場合 (RCA接続・コンポーネント)



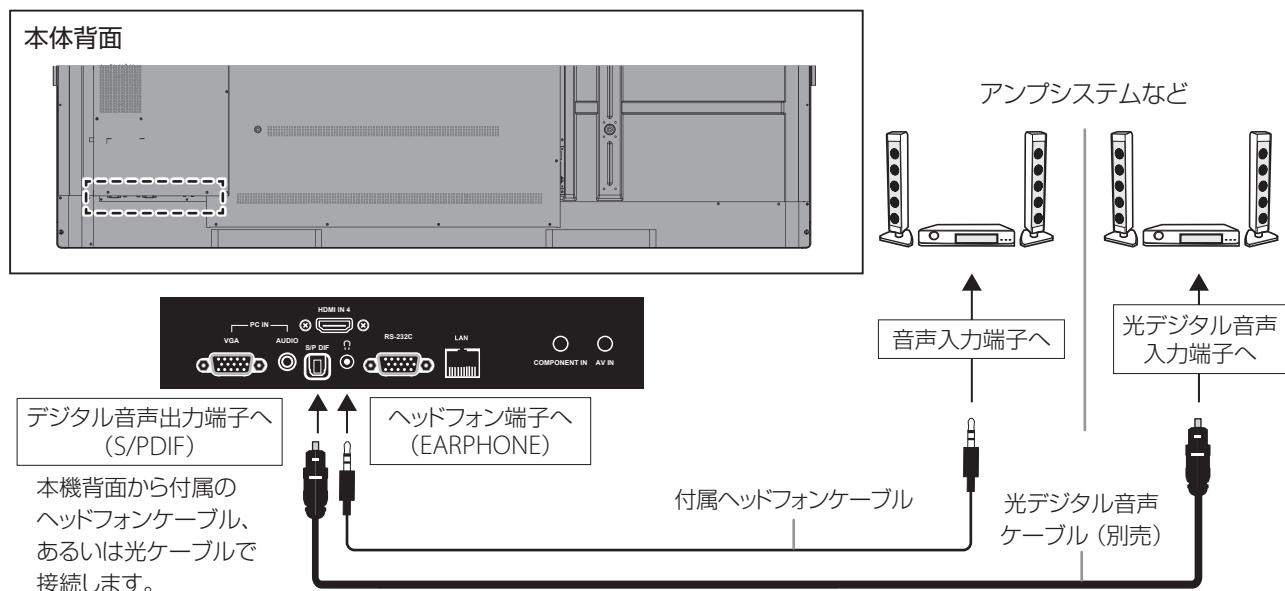
本機の映像入力をサブモニターなどで表示する（映像出力）

AV IN/VGA/HDMI入力画面を出力する場合



本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）

本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合



本機背面から付属の
ヘッドフォンケーブル、
あるいは光ケーブルで
接続します。

ネットワーク接続する

Wi-Fi接続

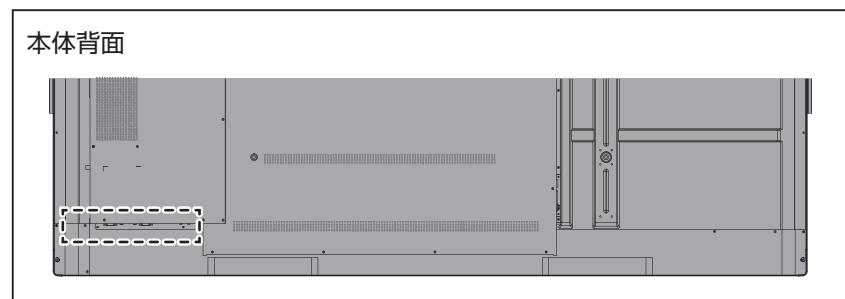
本製品はオプションのWi-Fiモジュールを利用して、Wi-Fi接続が可能です。

LANケーブルの接続

本機背面のネットワーク端子とハブまたはルーターのLAN端子をLANケーブル（別売り）で接続します。

ネットワーク設定は「詳細設定」の「ネットワーク設定」で設定します。

ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。



ネットワーク端子へ
(LAN)



ハブまたはルーター



LAN端子へ

LANケーブル

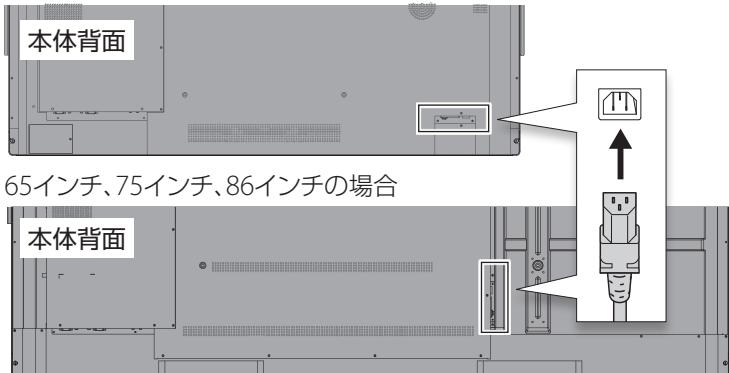
電源を接続する



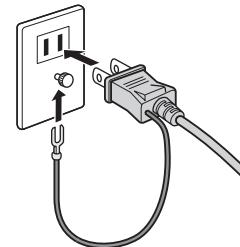
- ・ 電源コードは必ず本機付属のものをご使用ください。
- ・ アースは必ず接続してください。
- ・ アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなってください。また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。

1. 付属の電源コードを電源端子に差し込みます。

55インチの場合



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源の入／切

電源を入れる

- ① 本体背面の主電源スイッチを(|)側にします。
- ② リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押します。

電源を切る

- ① リモコンの電源ボタンを長押しするか、前面パネルの電源ボタンを長押ししてシャットダウンします。
- ② 本体背面の主電源スイッチを(○)側にします。

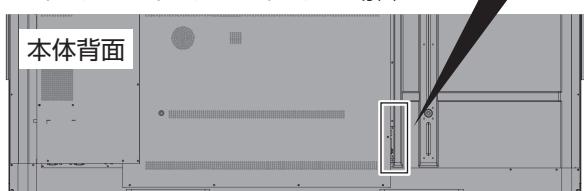


- ・ 本体をシャットダウンする前に本体背面の主電源をオフにしないでください。

55インチの場合



65インチ、75インチ、86インチの場合



スタンバイモード

リモコンまたは前面パネルの「画面消灯」を押すと、画面が消えスタンバイモードになります。

タッチ操作

本機では、指や付属のペンでタッチ操作ができます。

Windowsのタッチ操作の詳細については、Windowsのヘルプなどをご確認ください。

おもなタッチ操作

タップ（シングルタップ）



一度短くタッチします。

ダブルタップ



同じ場所をすばやく2回タッチします。

長押し



タッチしたまましばらく指を画面に触れたままにします。

主な役割

- ・ 項目やアイコンを選択
- ・ Android OSでアプリを起動
- ・ Windowsでマウスの左クリックの動作

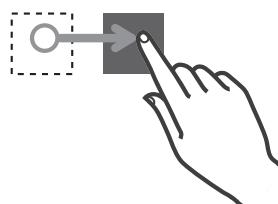
主な役割

- ・ Windowsでマウスのダブルクリックの動作（ファイルを開くなど）

主な役割

- ・ Windowsで右クリックの動作

ドラッグアンドドロップ



アイコンやスライドをタッチしたまま画面から指を離さずに移動して、指定の地点で指を離します。

主な役割

- ・ アイコンの移動
- ・ スライドを動かす

スワイプ／フリック



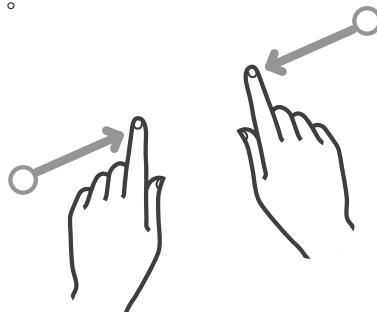
画面にタッチしたまま指を移動します（スワイプ）。指をすばやく払うようにすると、フリックになります。

主な役割

- ・ ページをスクロール
- ・ 画面下中央部からスワイプ／フリックして入力ソース切替画面を表示

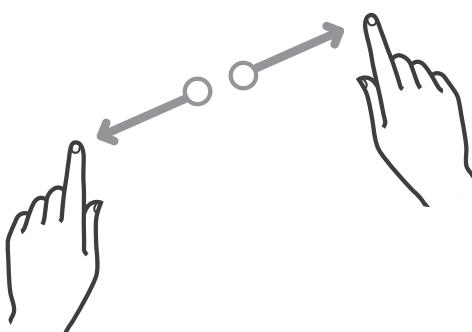
ズームイン

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を狭めます。



ズームアウト

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を広げます。



注意！

画面をタッチするときは、必ず指先か付属のタッチペンをお使いください。

ツメやボールペンなど先の尖ったものや固いものでタッチすると、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

基本的な操作方法

ホーム画面

電源をオンにすると、最初に本機内蔵Androidのホーム画面が表示されます。



タップするとアプリ一覧画面を表示します。――

 ホワイトボード	ホワイトボードのような使い方ができます。 → 29 ページ「ホワイトボードソフトを使う」
 File	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ内のファイルを閲覧することができます。 → 33 ページ「ファイルを参照する (Finder)」
 書画カメラ	書画カメラの映像を本機に映し出したり、撮影することができます。 → 34 ページ「書画カメラを使う (カメラ)」

基本的な操作方法 (続き)

入力ソース切替画面

表示する画面を切り換えたり、画面の明るさや音量を調節できます。

表示方法

入力ソース切替画面の表示方法は以下の2通りあります。

画面の下端中央からスワイプする



リモコンの入力切替ボタンを押す



映像入力している機器の映像を表示する

ボタンをタップすると、映像入力している機器の画面に切り替えることができます。



サイドメニューを表示する

表示中の画面に注釈を入れたり、キャプチャーを撮ることができます。



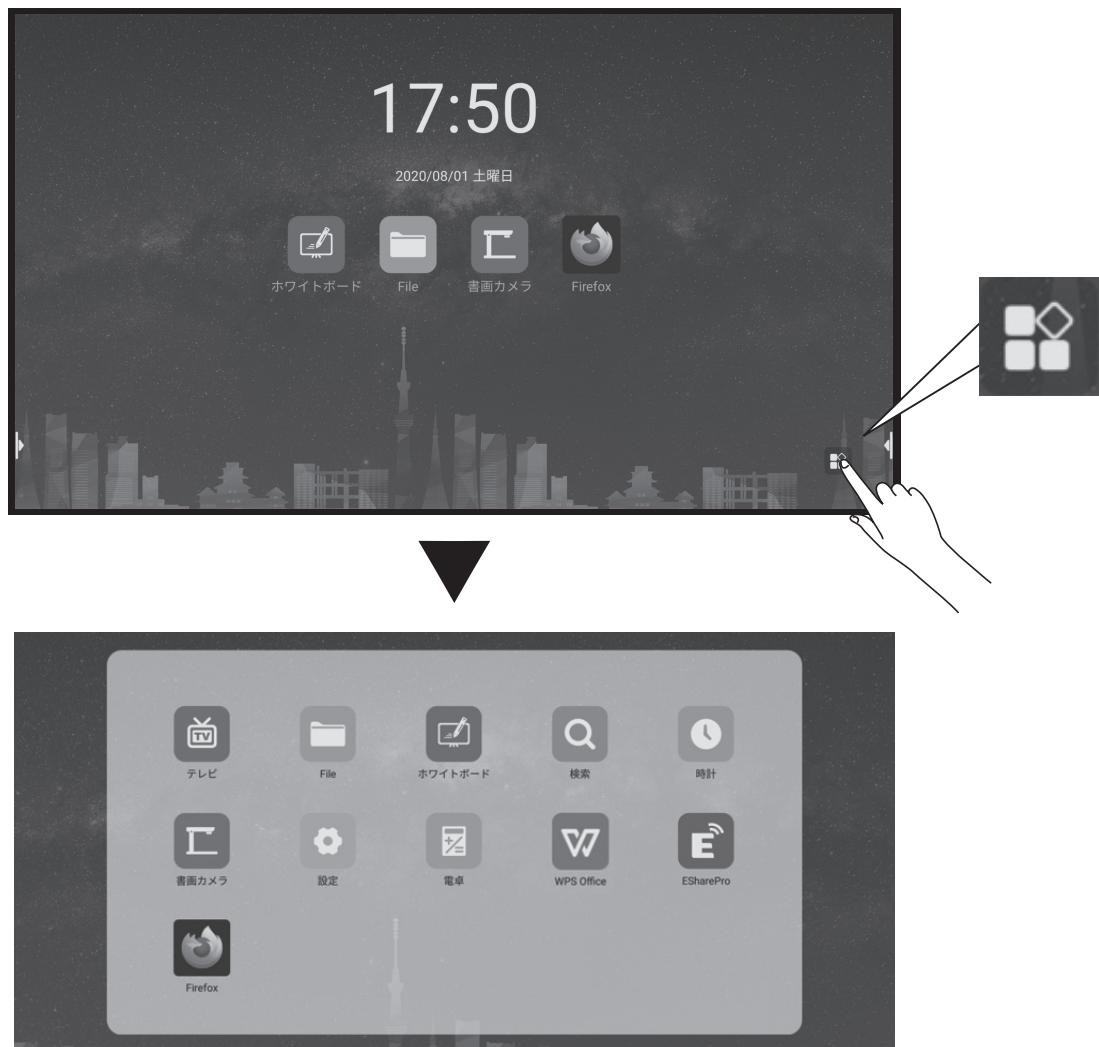
ホーム	ホーム画面を表示します。
アプリ移動	起動中のアプリを選択することができます。
戻る	1つ前の画面に戻ります。
ペン	ペイントモードになり、画面をタッチして線を描くことができます。 ペンモードで線を描きます。 選択した状態でボタンを再度タップすると、線幅や色を変えることができます。 蛍光ペンモードで線を描きます。 選択した状態でボタンを再度タップすると、線幅や色を変えることができます。 消しゴムモードになり、描いた線を消すことができます。 選択した状態でボタンを再度タップすると、線を全消去することができます。 1つ前の動作を元に戻します。 キャプチャーを撮ることができます。 ペイントモードを終了します。
ツール	タップすると、以下のサブメニューを表示します。 書画カメラアプリを起動します。 →34 ページ「書画カメラを使う（カメラ）」 キャプチャーを撮ることができます。 ペイントモードで描いた線も一緒に撮影されます。 撮影された画像は、本機「/ScreenShots」フォルダに保存されます。 カーテンのように画面の一部を覆い隠すことができます。 カーテンは端をドラッグすることで大きさを変えることができます。 スポットライトのように画面の一部のみを見せることができます。 スポットライトは画面をピンチイン／ピンチアウトすることで範囲を変えることができます。 画面を拡大／縮小表示します。 ストップウォッチとタイマー機能を使うことができます。

基本的な操作方法 (続き)

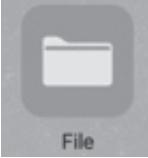
ツール	 シェア	スマートフォンやタブレットで2次元バーコードを読み取ると、本機で表示されている画面のキャプチャーを端末上で表示することができます。(端末は本機と同じネットワーク内に接続している必要があります) 5桁のパスワードを設定することもできます。
	 EC スイッチ	イージーコントローラーの機能を画面内で使用するかパソコン内で使用するかを切り替えます。
	 入力ソース	画面を映像入力している機器に切り替えることができます。

アプリ一覧画面を開く

ホーム画面で右下のアイコンをタップすると、アプリ一覧画面が表示されます。



アプリの説明

 テレビ	テレビ視聴アプリを起動して地上デジタル放送を視聴します。 ※ この機能を使用するには専用のテレビチューナーが必要になります。詳細につきましてはお買い上げいただきました販売店へお問い合わせください。	 File	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ内のファイルを閲覧することができます。
 ホワイトボード	ホワイトボードのような使い方ができます。 →29 ページ「ホワイトボードソフトを使う」	 検索	Google検索することができます。
 時計	時計アプリを起動します。	 書画カメラ	本機に接続されたUSBカメラの映像を表示します。 →36 ページ「USBカメラを使う（カメラ）」

基本的な操作方法 (続き)

 設定	設定画面を表示します。 →37ページ「設定する」	 電卓	電卓アプリを起動します。
 WPS Office	Micorosoft Officeファイルやpdfファイルを開くことができます。	 ESharePro	画面共有アプリの設定を行います。
 Firefox	インターネットブラウザを起動します。		

※ 各アプリの詳細については、アプリケーション事業者が提供する取扱説明書もしくはWebサイトをご確認ください。

ホワイトボードソフトを使う

画面上をなぞることで、ホワイトボードと同じように線を描けます。

10点まで同時にタッチを検出できます。

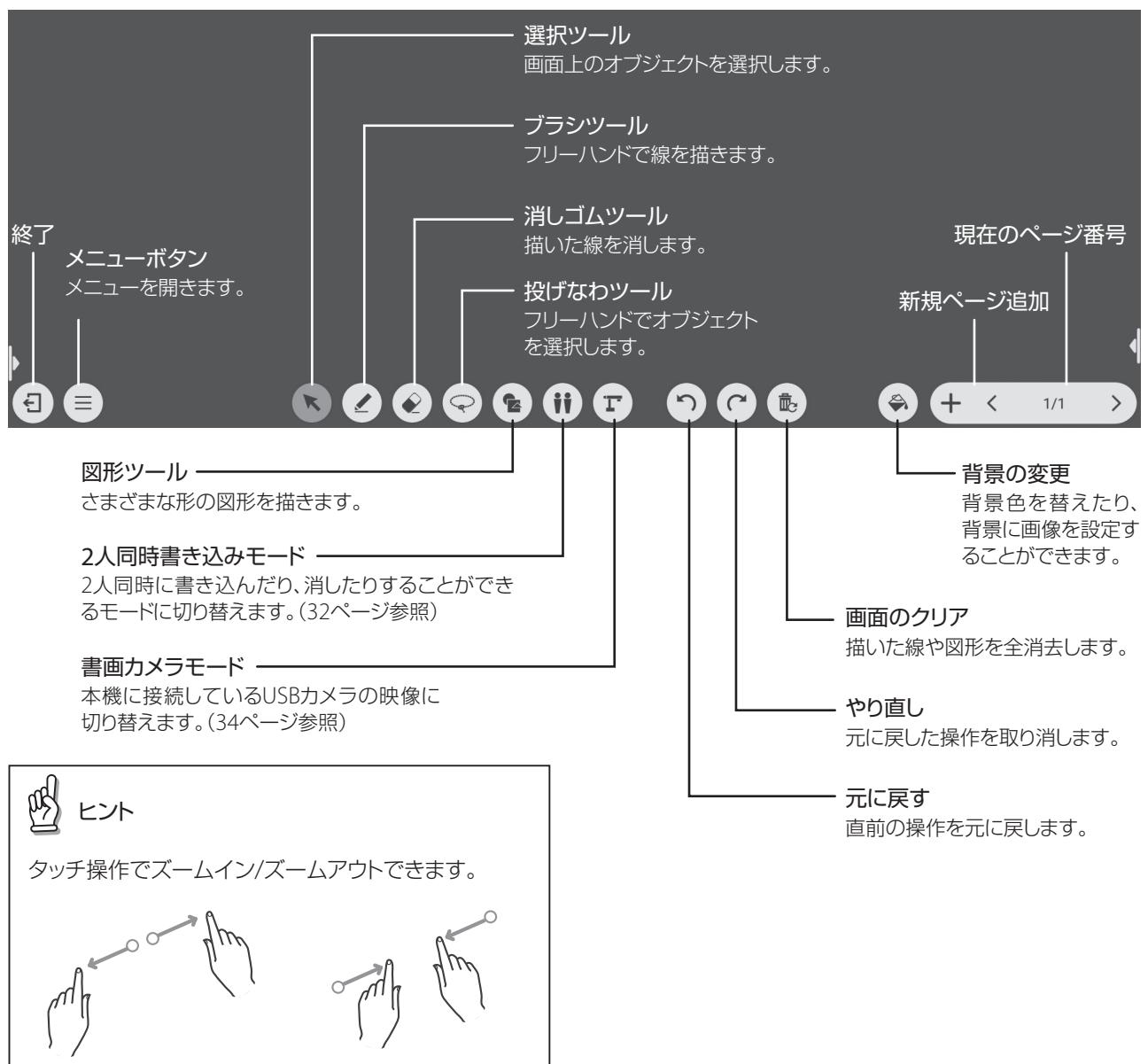
描いた画は保存することができます。

起動方法

ホーム画面から「ホワイトボード」アプリをタップします。



画面説明



ホワイトボードソフトを使う (続き)

メニューについて

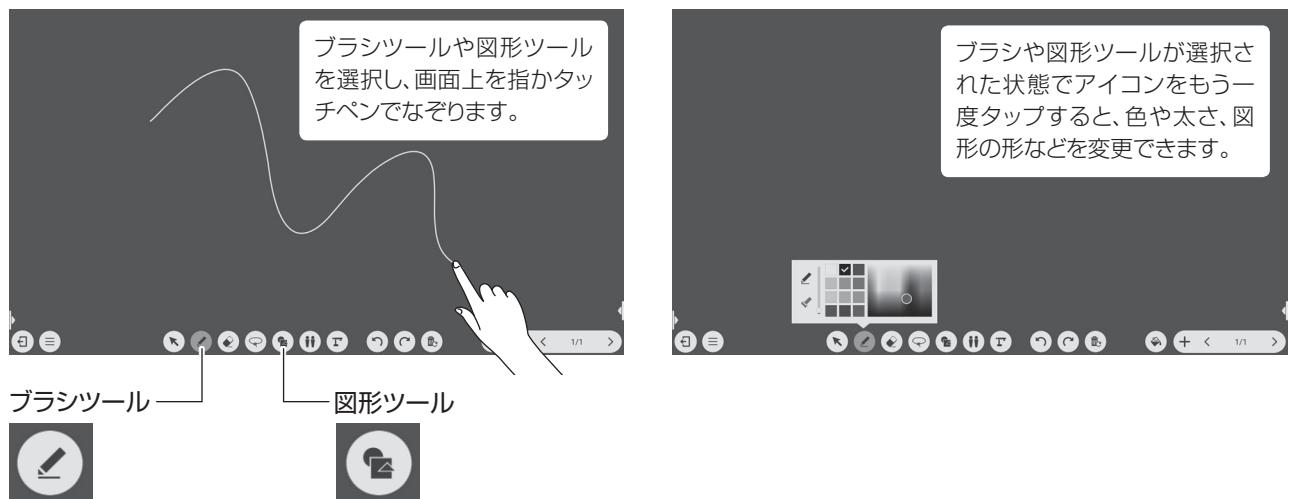
メニュー ボタンをタップすると、以下のメニューが表示されます。



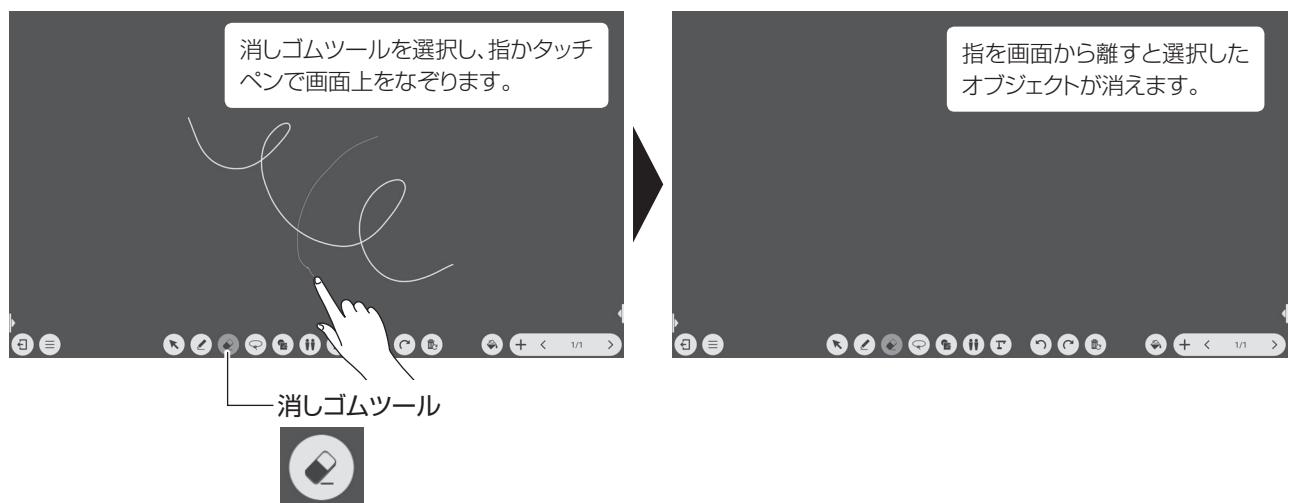
	スマートフォンやタブレットで2次元バーコードを読み取ると、本機で表示されている画面のキャプチャーを端末上で表示することができます。(端末は本機と同じネットワーク内に接続している必要があります) 5行のパスワードを設定することもできます。
	新規ファイルを開きます。
	ファイルを開きます。
	データを保存します。
	クラウドのファイルを参照します。
	画像ファイルを読み込んで、ボードに貼り付けます。
	ファイルを読み込んで、ボードに貼り付けます。
	JPEGまたはPDFで保存できます。

描く、消す

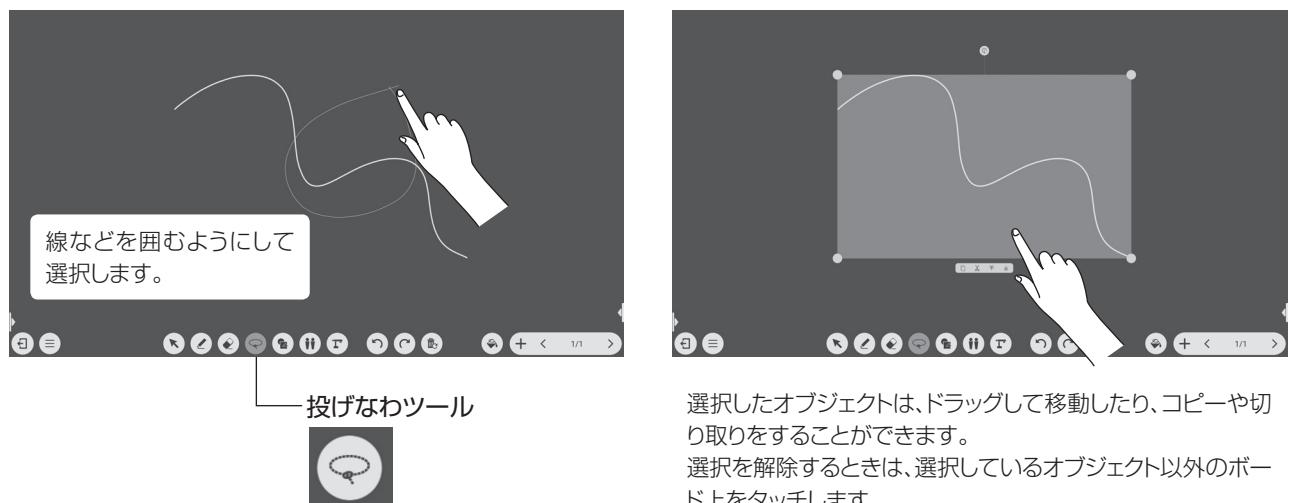
線や図形を描く



線を消す



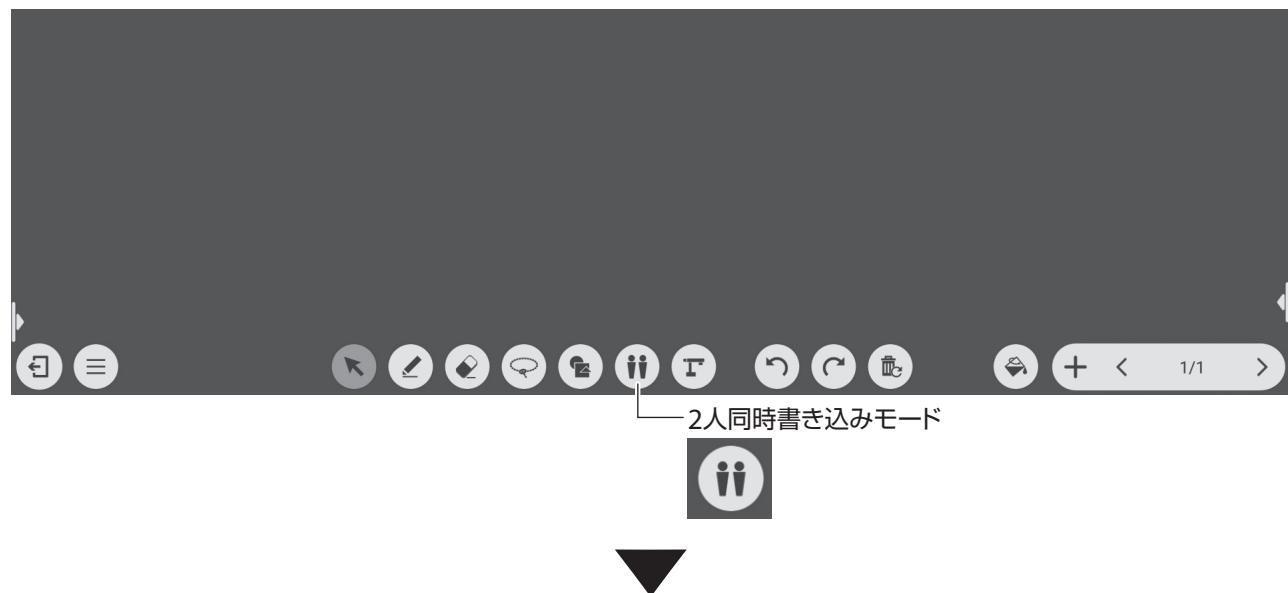
投げなわツール



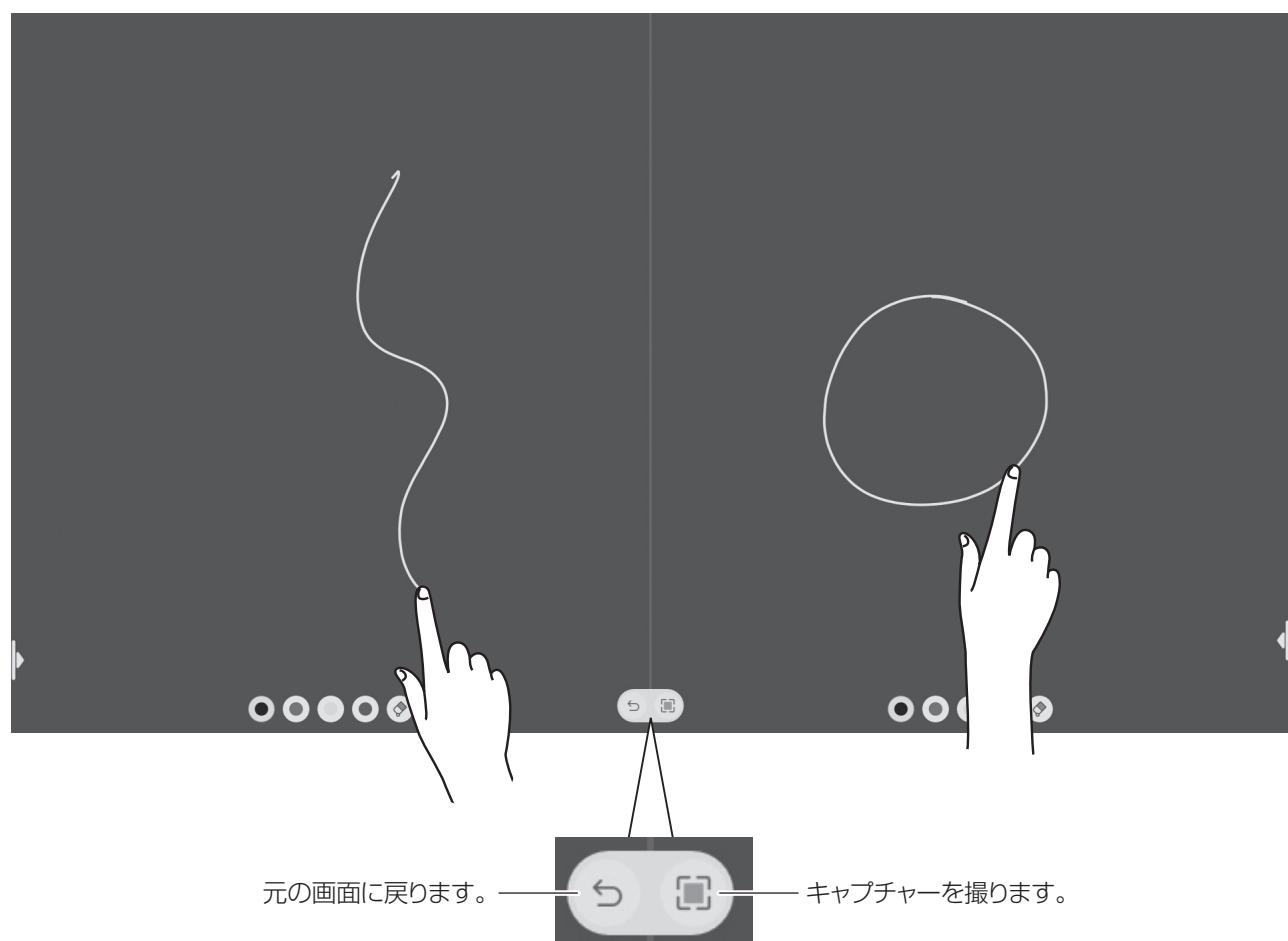
ホワイトボードソフトを使う (続き)

2人同時書き込みモード

2人同時書き込みモードにすると、2人が同時に書き込んだり、線を削除することができます。



同時書き込みモードに切り替わります。

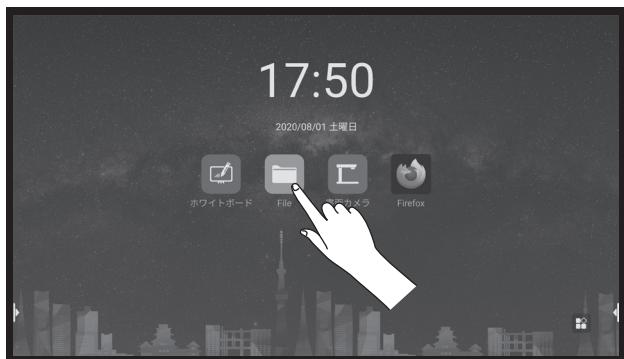


ファイルを参照する (File)

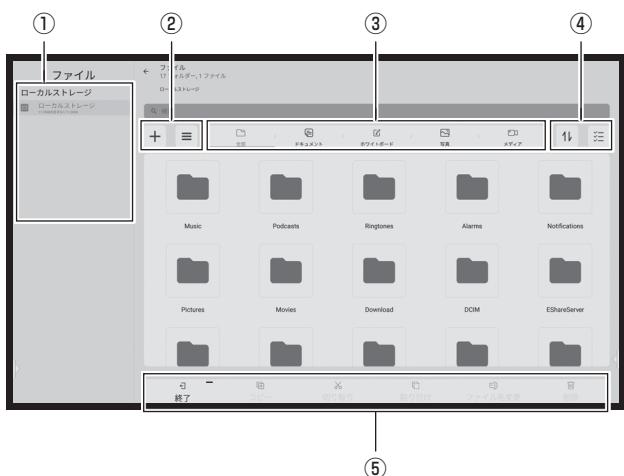
本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ内のファイルを閲覧することができます。

起動方法

ホーム画面から「File」アプリをタップします。



操作方法



⑤

①	ファイルを参照する場所を選択します。				
	<table border="1"><tbody><tr><td>ローカルストレージ</td><td>本機内にあるファイルを表示します。</td></tr><tr><td>リムーバルストレージ</td><td>本機に接続しているリムーバルストレージのファイルを表示します。</td></tr></tbody></table>	ローカルストレージ	本機内にあるファイルを表示します。	リムーバルストレージ	本機に接続しているリムーバルストレージのファイルを表示します。
ローカルストレージ	本機内にあるファイルを表示します。				
リムーバルストレージ	本機に接続しているリムーバルストレージのファイルを表示します。				
②	<table border="1"><tbody><tr><td>+</td><td>フォルダを追加します。</td></tr><tr><td>≡</td><td>アイコン表示とリスト表示を切り替えます。</td></tr></tbody></table>	+	フォルダを追加します。	≡	アイコン表示とリスト表示を切り替えます。
+	フォルダを追加します。				
≡	アイコン表示とリスト表示を切り替えます。				
③	表示するファイルの種類を選択します。				
④	<table border="1"><tbody><tr><td>11</td><td>ファイルの並び替えをします。</td></tr><tr><td>≡≡</td><td>ファイルを複数選択します。</td></tr></tbody></table>	11	ファイルの並び替えをします。	≡≡	ファイルを複数選択します。
11	ファイルの並び替えをします。				
≡≡	ファイルを複数選択します。				

⑤	<table border="1"><tbody><tr><td>終了</td><td>Fileを終了します。</td></tr><tr><td>コピー</td><td>選択したファイルをコピーします。</td></tr><tr><td>切り取り</td><td>選択したファイルを切り取ります。</td></tr><tr><td>貼り付け</td><td>選択したファイルを切り取ります。</td></tr><tr><td>ファイル名変更</td><td>選択したファイルのファイル名を変更します。</td></tr><tr><td>削除</td><td>選択したファイルを削除します。</td></tr></tbody></table>	終了	Fileを終了します。	コピー	選択したファイルをコピーします。	切り取り	選択したファイルを切り取ります。	貼り付け	選択したファイルを切り取ります。	ファイル名変更	選択したファイルのファイル名を変更します。	削除	選択したファイルを削除します。
終了	Fileを終了します。												
コピー	選択したファイルをコピーします。												
切り取り	選択したファイルを切り取ります。												
貼り付け	選択したファイルを切り取ります。												
ファイル名変更	選択したファイルのファイル名を変更します。												
削除	選択したファイルを削除します。												

書画カメラを使う

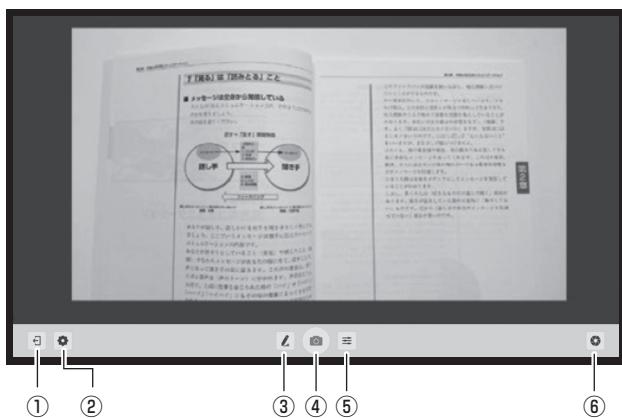
USBカメラを本体に接続し、カメラの映像を本機に映し出したり、撮影することができます。

起動方法

ホーム画面から「書画カメラ」アプリをタップします。



操作方法

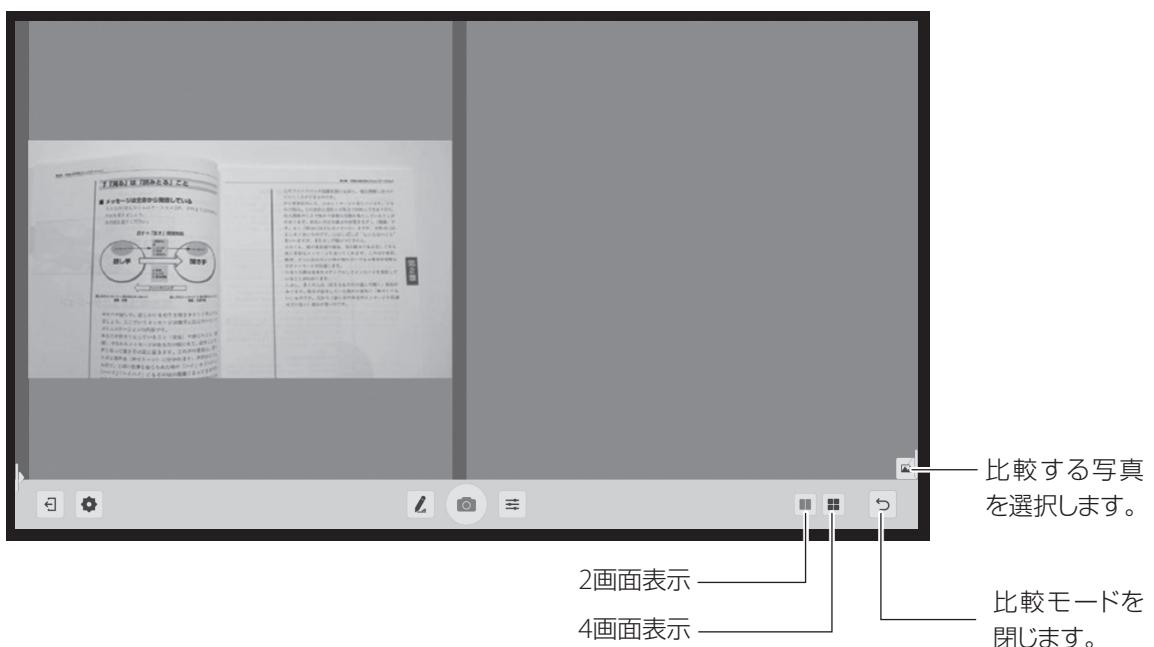


①		カメラを終了します。
②		解像度を設定します。
③		ペイントツールを開きます。 ペンモードで線を描きます。 選択した状態でボタンを再度タップすると、線幅や色を変えることができます。
		蛍光ペンモードで線を描きます。 選択した状態でボタンを再度タップすると、線幅や色を変えることができます。
		消しゴムモードになり、描いた線を消すことができます。 選択した状態でボタンを再度タップすると、線を全消去することができます。
		1つ前の動作を元に戻します。
		キャプチャーを撮ることができます。
		ペイントモードを終了します。
④		スクリーンキャプチャーを撮ります。

	画面設定を開きます。														
⑤	<table border="1"> <tr> <td>サイズ</td><td>フルスクリーンとオートズームを切り替えます。</td></tr> <tr> <td>スケーリング</td><td>画面を拡大／縮小します。</td></tr> <tr> <td>ローテーション</td><td>画面を右または左に90°回転させることができます。</td></tr> <tr> <td>種類</td><td>被写体の種類によって最適な表示になるように、モードを切り替えます。 N:普通モード T:文字モード P:写真モード</td></tr> <tr> <td>明るさ</td><td>画面の明るさを調整します。</td></tr> <tr> <td>色相</td><td>色相を調整します。</td></tr> <tr> <td>飽和</td><td>彩度を調整します。</td></tr> </table>	サイズ	フルスクリーンとオートズームを切り替えます。	スケーリング	画面を拡大／縮小します。	ローテーション	画面を右または左に90°回転させることができます。	種類	被写体の種類によって最適な表示になるように、モードを切り替えます。 N:普通モード T:文字モード P:写真モード	明るさ	画面の明るさを調整します。	色相	色相を調整します。	飽和	彩度を調整します。
サイズ	フルスクリーンとオートズームを切り替えます。														
スケーリング	画面を拡大／縮小します。														
ローテーション	画面を右または左に90°回転させることができます。														
種類	被写体の種類によって最適な表示になるように、モードを切り替えます。 N:普通モード T:文字モード P:写真モード														
明るさ	画面の明るさを調整します。														
色相	色相を調整します。														
飽和	彩度を調整します。														
⑥	比較モード画面を開きます。														

比較モード画面

 をタップすると、比較モード画面になり、カメラの映像と画像を並べて表示することができます。

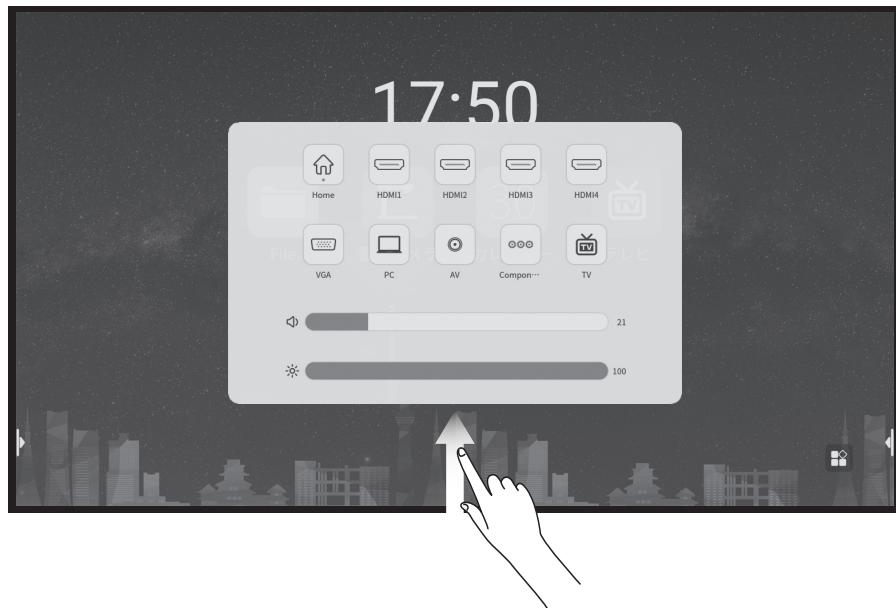


画面を切り換える

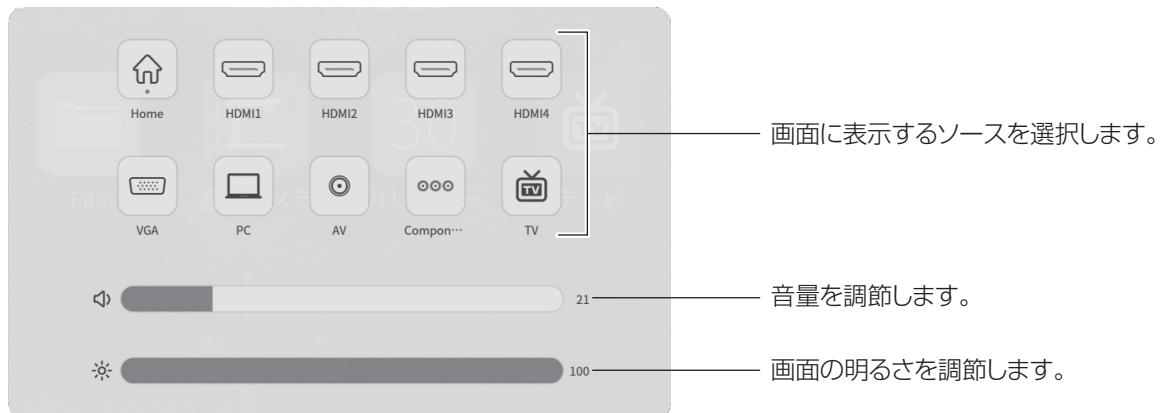
本機に映像入力している機器の画面の切り換えをおこないます。

起動方法

画面の下端中央からスワイプして入力ソース切替画面を表示させます。



操作方法



設定する

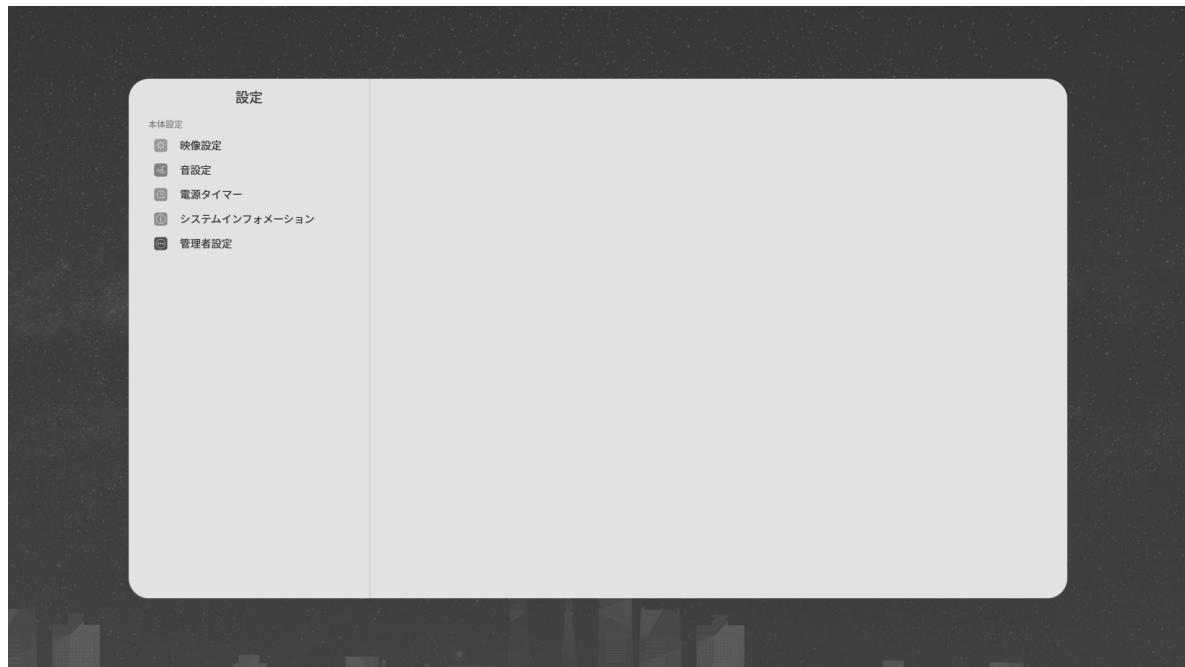
言語の設定やネットワークなど、より細かい設定をすることができます。

起動方法

アプリ一覧画面から「設定」アイコンをタップします。



設定画面が表示されます。



※「管理者設定」は管理者向けの機能となります。

設定する(続き)

映像設定

画面の設定をします。



画質	標準	工場出荷時の設定です。
	ダイナミック	コントラストを強調した画質にします。
	ソフト	ソフトな画質にします。
	ユーザー	ユーザーのお好みの設定ができます。
省電力モード	オフ	省電力モードをオフにします。
	自動	使用環境によって画面の明るさを自動的に調整します。
	バランス	使用環境によってバックライトを80%で点灯します。
	エコモード	使用環境によってバックライトを60%で点灯します。
	DCR	表示画面の色によって、バックライトの明るさを自動的に調整します。
色温度	標準	工場出荷時の設定です。
	クール	青色を強調して表示します。
	ウォーム	赤を強調して表示します。
アイプロテクト	タッチする際に自動的にバックライトの明るさが弱くなります。	
ブルーライトカット	ブルーライトをカットさせて目の保護をします。	
バックライト	バックライトの明るさをお好みに調整できます。	
高度な設定	お好みによって各項目の設定ができます。	

音設定

音の設定をします。

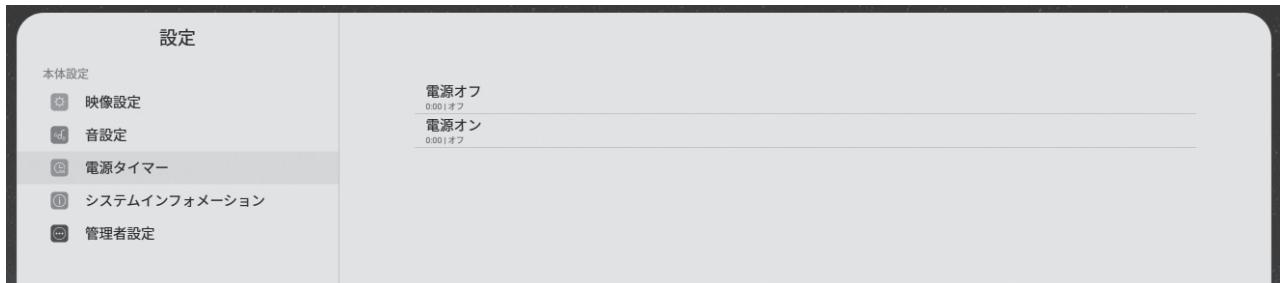


出力設定	スピーカー	工場出荷時の設定です、本体内スピーカーから出力します。
	SPDIF	光デジタルオーディオを使うときに設定します。
	ARC	側面HDMI端子の(ARC)表記がある端子から出力させる場合に選択します。
サウンドモード	標準	工場出荷時の設定です。
	音楽	音楽ソースを再生させるときに最適なモードです。
	映画	映画鑑賞をする場合に最適なモードです。
	スポーツ	スポーツ中継を観る場合に最適なモードです。
	ユーザー	ユーザーが好みによって各項目の設定ができます。
AVC	Auto Volume Control (自動音量コントロール)を有効にします。	
サウンドエフェクト	Surround soundを設定します。	
ボリューム	再生音量を調整します。	
バランス	左右の音声バランスを調整します。	
EQ120Hz～10KHz	各周波数帯の再生を調整します。	

設定する (続き)

電源タイマー

オンタイマーとオフタイマーの設定をします。



電源オフ	オフタイマーを設定します。
電源オン	オンタイマーを設定します。

システムインフォメーション

システム情報を表示します。



故障かなと思ったら

正常に動作しない

症状	対策
リモコンがうまく動作しない	リモコンとリモコン受信部の間に遮へい物があつて、電波が届かなくなつてないか確認する。
	リモコン受信部に向けてリモコンを操作する。
	リモコンの電池が+一正しい向きで入っているかどうか確認する。
	リモコンの電池残量があるか確認する。
本機が自動的にシャットダウンする	PCユニット搭載モデルの場合は、本機内蔵のWindowsがスリープ状態になつてないか確認する。
	停電になつてないか確認する。
	自動シャットダウンの制御信号が送られてないか確認する。

映像入力した機器の画面がうまく表示されない

症状	対策
画面が表示されない	ケーブルが正しく接続されているか確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
背景に縦線や横線が出る	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	本機の周囲に他の電子機器や電気製品があるかどうか確認する。 →他の機器から電波の影響を受けることがあります。他機器から離したり、位置を変えてみてください。
画像に色がない、または色が正しくない	VGA端子が確実に接続されているか、コネクタに問題がないか確認する。
	入力ソース切替画面の「高度な設定」設定で「輝度」、「コントラスト」、「彩度」、「シャープネス」などを調整する。
その他映像が乱れる	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。

音が出ない

症状	対策
画像も音声も出ない	本機の電源がオン（ ）になっているか、あるいはスタンバイモードになつてないかを確認する。
	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
	PCモードの場合は、本機内蔵Windowsまたは接続しているPCが起動しているか確認する。
映像は出るが音が出ない	リモコンのミュートボタンを押して、ミュートになつてないか確認する。
	リモコンあるいは本機フロントパネルの音量調節ボタンで音量を調節する。
	音声ケーブルが正しく接続されているかどうか確認する。 →VGA接続の場合、音声はVGAケーブルとは別にヘッドフォンケーブルで接続する必要があります。

故障かなと思ったら (続き)

片方のスピーカーからしか音が出ない	音声ケーブルが正しく接続されていることを確認する。 入力ソース切替画面の「オーディオ」設定で音声バランスを調整する。
-------------------	---------------------------------------------------------------

タッチ操作がうまくできない

症状	対策
	タッチした部分のサイズが指のサイズに比べ小さすぎないか確認する。
タッチが認識されない・正常に認識されない	タッチペンのペン先に異常がないか確認する。
	接続しているPCのタッチ操作が認識されない場合 ・本機のタッチ端子とPC側のUSB端子が付属のUSBケーブルで接続されているか確認する。 ・タッチドライバが正常にインストールされ、ソフトウェアが起動していることを確認する。

お手入れ方法

長くお使いいただくために定期的にお手入れをしてください。

クリーニングおよびメンテナンスの前には、感電防止のため電源プラグを抜いておいてください。

注意!

- お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることができます。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと、液晶ディスプレイの表面に傷がつくことがあります。

液晶ディスプレイやキャビネットのお手入れ
乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。



長期間使用しない場合

本機を長時間使用しない場合は、必ずプラグを抜いてください。

仕様

モデル名		M55PE2S	M65PE2S	M75PE2S	M86PE2S
電源入力		AC 100V 50/60Hz			
消費電力	通常	160 W	200 W	265 W	385 W
	スタンバイ時	0.5W未満			
使用環境条件	温度	0°C ~ 40°C			
	湿度	20% ~ 80% (結露がないこと)			
音声出力		18 W + 18W			
VESA規格 (mm)		400×400	400×600	600×800	600×800
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)(mm)		1285.5×796×96 梱包時： 1414×901×232	1490.5×905.5×89.3 梱包時： 1676×1097×231	1714.7×1032.7×89.3 梱包時： 1875×1186×231	1959.5×1170.2×89.3 梱包時： 2118×1324×290
質量		36 kg 梱包時：43 kg	43 kg 梱包時：51 kg	57 kg 梱包時：65 kg	69 kg 梱包時：82 kg
ディスプレイ					
サイズ		55型	65型	75型	86型
画面寸法 (幅×高さ)(mm)		1209.6×680.4	1428.48×803.52	1650.24×928.26	1895.04×1065.96
画素数 (水平×垂直)		3840 × 2160			
輝度		450 cd/m ²			
コントラスト比		4000 : 1	5000 : 1	4000 : 1	1200 : 1
表示色		約10.7億色			
視野角		左右178度／上下178度			
タッチ システム	マルチタッチ	最大32点マルチタッチ			
	接続端子	USB			
	保護ガラス	強化ガラス			
本体端子					
入力端子	VGA	15pin mini D-Sub×1			
	HDMI	HDMI×4			
	AV	コンポジットRCA×1			
	YPbPr	コンポーネント端子×1			
	AUDIO	3.5Φステレオミニジャック×1			
出力端子	HDMI	HDMI×1			
	COAX	デジタル出力端子 (S/P DIF)×1			
	EARPHONE	3.5Φステレオミニジャック×1			
USB端子	USB 2.0	USB 2.0 Aタイプ×2			
	USB 3.0	USB 3.0 Aタイプ×4			
	TOUCH	USB Bタイプ×2			
シリアル端子	RS232C	D-SUB9ピン (RS232C)×1			
LAN端子	LAN	RJ45×1			

アフターサービス

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はお買い上げの日から1年間です（ただし、光源のLED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かなと思ったら」をお読みいただき、それでも直らないときは、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社相談窓口にご連絡ください。

大変危険ですので、ご自分で修理はしないでください。

保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理可能な製品については、ご要望により有料にて修理致します。

お買い上げの販売店または弊社相談窓口にご相談ください。

修理ご依頼のときは、製品名、ご氏名、ご住所、電話番号、お買い上げ日、故障の内容（具体的に）をご連絡ください。

修理料金について

修理料金は、[技術料]+[部品代]+[出張料]+[輸送料]で構成されています。

商標について

- ・ さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国および他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ・ Android OSは、Google LLCの商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など

 **0120-261-271** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00 ~ 17:00 (月~金)

祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

さつき株式会社

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号